

# きらら

## 食べて喋って、笑って泣いた

### 女性部 百歳をめざそう「百の会」

秋晴れの9月12日、牧田のコミュニティセンターで、女性部の「百の会（百歳をめざそう）」が開かれました。八十歳以上の方15人と女性部有志11人がお手伝いで、総勢26人の楽しい会となりました。



百の会の皆さん  
写真提供 林 和代

佐藤晴衣さんのあいさつで食事が始まり、田中さんちの新米三升のオニギリ、大鍋一杯の豚汁、さつまいものいろ、ミニトマトにフルーツサラダ、寒天、なんとロールトビーフが三皿も。さらに女性たちの凄いところは、八十二歳の中平のお姉さんが鍋一杯の「すいとん」を作って差し入れてくださったことです。

戦中戦後のすいとんは、こんなに美味しくはなかったと、うれしい文句を言う方もいて大笑い。私も初めて頂きました。コーヒールあり、中川さんのお抹茶あり、六花亭の百歳という銘菓と高森さん手づくりのコースターが配られ、年金者組合定番の花、姫アンスリウム可愛い鉢もお土産です。みなさんニコニコでした。

食後は、「母」という詩人八木重吉の詩を、宮崎ヨシ子さんと田中美代子さんが朗読。

全日本年金者組合  
三重県鈴鹿支部  
第211号  
2014. 9. 26  
事務局  
〒510-0234  
鈴鹿市江島本町  
31-36  
<http://suzuka-nenkinsya.jimbo.com/>  
辻井良和  
tel 059-386-0529  
編集責任者  
勝谷鐵幸  
鈴鹿市平岡町1641-20  
tel 059-387-0383  
fax 020-4663-3958  
e-mail tekatu65@movie.ocn.ne.jp

続いて、田中さんの三女の「敬老の日」に寄せる母への想い」を中川信子さんが代読。みんなシーンとして聞いています。突然声が詰まりはじめ、やがて聞こえなくなり、見ると中川さんが泣いています。それがみんなに伝わりそれぞれに涙をふいているのです。司会の佐藤さんまで泣いてしまいましたが、高齢の自分たちにもまだこんなに

## なかまづくりをみんな

### 友だちに一声を 仲間づくり特別月間

9月10月11月の3ヶ月間で、組合員を増やそうとみなさんをお願いします。

9月は、年金下げるな、最低保障年金制度作れの署名を集めながら、署名してくれた人に一言声をかけましょう。

10月はスポーツイベントへ誘い、11月はいきいきまつりや三重県高齢者大会へ誘い、一声かけましょう。サークルへのお誘いもしてみよう。

(支部長 辻井良和 記)

### 新しい仲間を紹介しす

杉野 禮子さん (神戸)

### 仲間づくり

214名

(9月26日現在)

「敬愛の日に寄せる母への想い」を中川信子さんが代読。みんなシーンとして聞いています。突然声が詰まりはじめ、やがて聞こえなくなり、見ると中川さんが泣いています。それがみんなに伝わりそれぞれに涙をふいているのです。司会の佐藤さんまで泣いてしまいましたが、高齢の自分たちにもまだこんなに

(辻井 豊子 記)

### 波の音

「反戦の晶子の短歌みつかれり我も叫ばん君死に給うなと糸柳眩子」(きらら文芸) ▼ある友と「第二芸術論」を懐

かしく語りました。桑原武夫が、昭和21年11月「世界」で挑発した論文。結果として、歌人、俳人たちは内容で勝負していきましました。わが「きらら」をはじめ、新聞、雑誌、各種広報誌、放送、インターネットに生産される短詩形の量は、一ヶ月万単位ではないでしょうか。▼小説が第一芸術ではありません。短歌で言えば、千三百年前の万葉集から絶えることなく続いている庶民の芸術です。防人の妹へ送る歌、東歌の労働歌。そして今日の新聞歌壇には、東日本大震災、原発、集団的自衛権、秘密保護法を内容とするものが何と多いこと。まさしく、時代に「われ」が向き合っているのです。主婦なる庶民が「ことあげ」しているのです。俳句掲載を拒否した、さいたまの市の何とあきれた見識でしょうか。▼「ヒロシマに来て抑止力説くシンゾウ 余志嘉壽」(きらら文芸)。コピペなどせず、「きらら」で勉強したまえ、アベ君よ。

(加藤 正美 記)

抗議文

三重県教育委員会 2014年9月22日  
委員長 宮崎 恭典 様  
教育長 山口千代己 様

鈴鹿市江島本町31-36

辻井 良和

(三重県年金者組合執行委員長)

自衛隊募集チラシへの三重県教育委員会  
名称使用に抗議します。

本年7月2日頃から、三重県下各地の高等学校門前で高校生宛に配布された自衛隊募集のチラシには、三重県教育委員会の名称が印刷され、三重県及び三重県教育委員会が、自衛隊募集の主体であるかのように上位に印刷されています。

この事実に対し、すでに三重県下各団体からも教育委員会に対する質問や抗議が寄せられている状況がありますが、改めて三重県下の年金者組合員の多数者及び、戦争の時代を生きた経験を持つ高齢者の立場から、三重県教育委員会の行った軽率な行動に対し、強く抗議します。

今日の自衛隊は、その出生の時から、警察の予備隊と言い抜けて、戦争放棄と戦力の不保持を定めた憲法9条に違反して設置され、その後自民党等の政府の「憲法解釈」の拡大によって、保安隊、自衛隊と衣を替えて今日の戦力を持つに至りました。しかも近年、海外援助や後方警備の名目で海外に部隊を派遣し、一触即発の危険な状況下におかれることが常態化しています。しかも安倍内閣が「集団的自衛権」の行使容認の閣議決定を行ったことによって、自衛隊を憲法に違反すると考える国民は多数在り、国論は自衛隊の存在について二分している状況にあります。

教育委員会は、今日と未来の三重県民の教育に全責任を負う重大かつ厳粛な誇りと権威を持つ存在でなければなりません。教育委員会の歴史をたどれば、教育委員は公選により国民から選出された公職者であり、異なる政治的意見を持つ委員たちの共通の合意を前提として活動を行ってきたものであります。今日県議会同意の選任に変わったとは言え、異なる意見の尊重、すなわち個人の尊重と基本的人権の最大の尊重という憲法の基本的原則を前提としていることは明らかであります。

教育基本法もまたこの原則を、憲法に則り銘記してあることから、三重県教育委員会はこの原則を逸脱し、現政権の元で特定の考えに迎合し、或いは従属したものとなり、教育委員会の誇りと権威を失ったといわざるを得ません。このような教育委員会の元で私たちの子や孫を教育されることには恐怖を感じます。

教育委員会は、直ちに名称使用の許可を取り消し、今後自衛隊の募集に関与しないことを明らかにされるよう求め、厳重に抗議します。文書による回答を求めます。 以上



子や孫を死なせたくない  
自衛隊募集に手を貸す教育委員会に抗議

7月2日頃から、自衛隊の高校生対象の募集チラシに三重県教育委員会が名前を出したことに、教育委員会は憲法を守って、戦争を急ぐ安倍政権に軽率に従うなど抗議しました。

15時、アスト津ホールで集会(1時間)を開き、その後デモ行進(津駅前↓県庁下↓津駅前 1時間)を行うプログラムで実施されます。規模は200人を見込み、鈴鹿支部の参加目標は40人です。消費税の増税、年金の引き下げ、医療・介護のさらなる改悪、物価の上昇、など、年金生活者の暮らしはいつそう成り難くなっています。海外で戦争できる国づくりも進み、秘密保護法に続き、集団的自衛権行使容認の閣議決定、そして、原発の再稼働の策動と、安倍政権は暴走中

です。 自らの暮らしを守り、平和を求めて、20万署名で直訴し、年金者一揆に立ちましょ。 鈴鹿支部は、白子市民センター1駐車場に集まり、11時30

三重県高齢者大会  
11月14日 10時〜 白山町「しらさぎ苑」

分、分乗して出発します。他の交通手段で行かれる方は現地集合です。参加希望者は勝谷(TEL387-10383)まで連絡して下さい。(勝谷 鐵幸 記) 支部は、施設の送迎バス(定員40人)を利用して、40人で参加します。希望者は、先着順ですので、早い目に、役員か「しらさぎ」配布者、勝谷(TEL387-10383)まで連絡して下さい。

2つの大会を成功させよう  
三重県年金者一揆

10月14日 13時〜 津市「アスト津」  
2014年の三重県年金者 一揆は、10月14日(火) 13時



# 高齢者へのサポート活動

## 日本高齢者大会in富山 桑原 篤

9月12日(金) 13日(土)



おわら風の盆を演じる八尾高校生  
写真提供 勝谷 鐵幸

に富山で行われた第28回高齢者大会に参加してきました。

第一日目は、富山大学で学習講座・分科会・移動分科会がありました。私は12分科会「住民参加で地域まるごと支えあうまちづくり」のとりくみに参加しました。提案は二つ。一つは富山医療生協の「たすけつとクラブの活動」、二つ目は石川県NPO法人たすけ愛の「NPO法人たすけ愛の活動」でした。たすけつとクラブの活動は、

医療生協の組合員内でのたすけあいの活動であり、石川県のたすけ愛はNPO法人としての活動であるところが違います。どちらも高齢期になり一人では自立した生活ができにくくなった人へのサポートの活動でした。

富山医療生協では、組合員に日常生活で困っていること、困っている内容でお手伝いできること(自分の特技を活かす)等についてアンケートを取り、理事会の中にたすけつと事務局・地域コーディネーターを組織しその活動を支えているということでした。高

齢の組合員に喜ばれ、その活動は年々大きくなっており、組合員のつながりも強くなっているそうです。愛知県の年金者組合でも同じような活動を行っているという発言もありました。

NPO法人たすけ愛の活動は、その範囲をさらに広げ、送迎サービス・配食サービス、生活支援サービス等を各地域で行っています。年間6千万円程の事業になっているということでした。

第2日目は、富山市総合体育館で全大会がありました。記念講演は翻訳家の池田香代

子さんが「平和な未来をきずく」という演題で話をされました。また、沖繩の代表が「辺野古基地反対は沖繩県民の総意だ。」と発言され大きな拍手につつまれました。

来年度は和歌山で行われます。富山の実行委員長から和歌山の実行委員長にバトンが渡され固い握手の中で全体会が終わりました。

皆さんのカンパで行かせて頂きました。ありがとうございました。

(参加支部組員 伊藤純雄・勝谷鐵幸・桑原 篤・澤井順子・辻井良和・三輪憲司・山下久美子) 勝谷 鐵幸 記

# 原発ゼロと平和を求めてドイツの旅

## (3) 自然エネルギーへの

### 転換をめぐる市民運動

「脱原発の取り組み」を学ぶのは、旅行の目的の一つだ。ベルリン市内で、「安全なエネルギーに関する倫理委員会」



ノーラ市長さんに自然エネルギーへの思いを聞く  
写真提供 橋詰 圭一

橋詰 圭一

元メンバーのミランダ・A・シュラーさんからお話しを聞くことが出来た。ミランダさんは米国生まれで日本にも留学し、流ちょうな日本語で話された。日本での講演や新聞にもたびたび登場している。

日本で出版されている「ドイツは脱原発を選んだ」(岩波ブックレット)を事前に読んでおいたので話の中身はすぐ理解でき、ここでは書き切れない。ぜひ読んでください。ひとつ触れるとすれば、

ドイツでは国の重要な政策を決めるときに「倫理委員会」作り、倫理的観点、持続的発展の観点から検証し、その報告をもとに、国民的議論をどうすすめていくかということが重視されていること。

チエルノブイリ事故後ドイツは脱原発に政策転換したが、福島原発事故はさらに大きな衝撃を与えたという。福島原発の汚染水はいまだに太平洋にたれ流されているが、川の水で冷却するドイツで事故が起きたらどうなるか・・・。

国会議事堂に行く。屋上にガラス張りの大きなドームが

あり見学者からは、その下の議場も見える。まさにガラス張り。驚くことに電力は全て自然エネルギーでまかっている。太陽光パネル、バイオマス発電、下水コージェネなど。

ワイマール市の隣の人口1800人の小さなまち、ノーラ市に行く。自然エネルギー100%のまちの市長さんと技術者に説明を聞き、ソーラー施設、バイオマス施設を見学。

チエルノブイリ事故後に市民のイニシアチブで、「街作りマスタープラン」に自然エネルギープラントの計画が盛り

込まれたとのこと。「脱原発の取り組み」で学ばされるのは、市民の声が国の政策に反映されていること。多彩な市民運動は、それぞれの地域で「エネルギー協同組合」を作り、太陽光パネル、バイオマス発電施設などを自ら作り、電力会社とも交渉しながら自然エネルギー転換をすすめていること、など。目から鱗だ。

日本でもそういう市民運動は各地で生まれつつある。もつと学び、議論し、行動しなくてはと思ったドイツ旅行でした。(おわり)

サークル通信

温泉めぐる会

9月例会 ひまわりの湯  
山の中、良質で大きな露天風呂

長野県の最南端、平谷村の「ひまわりの湯」は、山の中の少しばかりの平地に、小さなプールほどの露天風呂を持つ、良質の源泉温泉です。泊まって温泉療治することも出来ます。

一行20人は、マイクロバスで恵那山トンネルを抜けた園原インターから約20分で到着。



温泉を楽しんだ皆さん 写真提供 辻井 良和

3時間を温泉と食事に使い、ゆつくりした旅でした。参加した皆さんは、温泉の良さに感激し、長い距離にも苦情は出ませんでした。次回は、10月23日(木曜)岐阜市の喜多の湯六条温泉。出発時間8時30分。参加費三千五百円。申し込み10月18日まで、定員22人まで。(辻井 良和 記)

グラントゴルフ

優勝は白石初美さん

好天に恵まれた9月17日にフラワーパークで、男女11名の16名で4ゲームを行いました。優勝は4ゲームトータル84で白石初美さんでした。ブービー賞は初参加の川戸幸一さん。ホールインワンは、岡洋子さんと奥山正子さん、小林昭枝さん、白石初美さん、豊留和子さん、山際節子さんが各1回でした。

初参加の川戸幸一さんの感想「今回初めてグラントゴルフに参加させて頂きました。自然に恵まれ以前の荒神山とは全く違い、花の環境も良く、多くの方と楽しく過ごせて幸せでした。グラントゴルフは簡単と思っ

卓球を楽しもう

9月9日(火)午後1時30分から白子コミュニティセンターの2階ホールで第1回を行いました。しかし、運良くブービー賞を頂くことが出来、これからも参加させて頂きますので宜しくお願いします。次回は10月15日(水)午前9時から、雨天時は10月17日(金)になります。場所はフラワーパークです。(松田 二郎 記)



第1回卓球を楽しもう 写真提供 勝谷鐵幸

ワンポイントストレッチ体操 (24)



床の上に座り、両足は体より広く取り、腰はそのままにして両手を肩幅で前に伸ばして、額が床に着くように伸ばします。そしてお腹が床に着くまで足を広めます。効果 両肩が上に良く伸びます、腰を支える筋肉も伸びます。両足の前の太股の筋肉が伸び姿勢が良くなります。(梅田 全美 記)

目の卓球サークルを実施しました。8名の方が参加しました。昔、会社の寮や昼休みに卓球やバレーをしたことなど、わきあいあいと話しながら2時間ほど楽しく汗を流しました。

10月の例会は、10月17日(金) 13時30分~15時30分、白子コミセンホールです。\*10月14日(火)に予定をしていたのですが、その日は年金者一揆の日ですので、10月17日(金)に変更しました。よろしくお願ひします。(桑原 篤 記)

パソコン教室

(9・17実施) ある人は、プリンターを動かすドライバのダウンロードに挑み、ある人はチラシの作成に、「きらら」を作っ

いる勝谷書記長を指導に来てもらい、「編集長」の使い方をより深くまなび、ある人はカラオケをパソコンで出来るソフトの、セッティングと操作を練習しました。橋詰さんも大活躍でした。次回は、10月1・15日の水曜日、13時から15時まで、白子コミセンです。(樋口 公允 記)

カラオケを楽しむ会

10日に9月例会をおこないました。見学の方お二人に来て頂き、時のたつのを忘れ、楽しく唄いました。次回は、10月8日(水) ジャパンカラオケ中央店 11時から4時まで、参加費三〇〇円、お昼は各自で。(熊給富子、佐藤晴衣 記)



山歩会

9月例会 局ヶ頂

9月23日(火)、快晴、参加者は13名。

高速伊勢道を走り玉城インターよりサニーロードに入り南伊勢町の相賀浦に9時に到着。9時20分登山口である「海ぼつず」横を出発。

局ヶ頂は高度は低いにもかかわらずアップダウンが多く汗をかきかきの歩行となったが、途中には太平洋がもろに望め素晴らしい景色を見ながらの登山となりました。

11時40分頂上に到着。食事後、12時35分に頂上を出発。14時30分に駐車場に無事到着。本日の登山は、天気も良く、眺望も良く、且つ賑やかな楽しい山行となりました。

(前田 純 記)

10月例会は、熊野古道の「八鬼山越え」(627m)

(大曾根浦→三木里)です。難度 ★ 脚力 ★★

日時 10月17日(金)、歩行時間約6時間、集合時刻午前6時、集合場所鈴鹿市文化会館 第三駐車場、出欠連絡先 岡本三千子、前田純

(前田 純 記)

どんがめグループ

8月29日(金) 伊勢山上(380m)参加者 4名。

9月21日(日) 経塚山【北

霊仙山】(1084m)参加者11名。7合目を過ぎると石灰岩の点在する大高原が広がり、伊吹山、琵琶湖を望む展望は素晴らしい。

10月例会は、都合によりお休みします。11月までお待ちください。(足立房枝 記)

女性部サークル

音読の会

9月の例会は、5日、ジェフリーすずかにて、6人の出席でした。

脳トレと漢字のドリルをしました。漢字の読み方と意味を間違いやすい言葉の問題です。★姑息な手段をとる↓

(正) 一時しのぎ(誤) 卑怯な ずるい。★やおろ身を起こす↓(正) ゆっくりと(誤) いきなり。★歌のさわりを聴く↓(正) 一番良い部分(誤) 最初の部分。

次回は、10月2日(木) 9時30分、ジェフリーすずか研修室Bです。(太田 和美 記)

花をめぐると

9月コスモスの予定がお天気具合が悪く、きれいな花が遅れています。10月にずれ込むかもしれません。

10月は20日過ぎに花の都合により、なはなの里のダリア

を予定しています。

(林 和代 記)

映画の会

10月は、10月29日(水)、1時半から、映画「武士の一分」(原作藤沢周平)を予定しています。社会福祉センター大広間、参加費二百円。

(辻井 豊子 記)

おいしい会

9月は17日にホテルハイシティーセントでの例会でした。グラントゴルフの人たちが帰りに寄ってくれてにぎやかにになりました。

次回10月は25日の土曜日です。場所は西条マルヤスのお隣の「港屋」さんです。時間は11時30分からです。皆様のお越しをお待ちしております。

(本堂 たき子 記)

かよちゃんの手芸教室

10月は、10月28日(火) 13時~16時、岡田集会所です。(山中 加代子 記)

正美さんのよみかき教室

9月19日(金) に開きました。作品の合評会と先生の添

最多のアンケート集まる

9月20日、マックスバリュール鹿鹿店(カーマ樓)でアンケート活動を行いました。

9時半から3時半までの6時間を、9名の会員で行いましたが、206人の方にアンケートを書いていただき、1名の方が入会されました。一日で200を超えたのは初めてです。

(辻井 豊子 記)



アンケート活動 写真提供 橋詰 圭一

家庭菜園をしています。夏野菜が順調でした。特に今年には知識がUPした(本人だけが思っている)おかげで、大豊作となりました。

ちよっと勉強、それは「わきめ」です。野菜の種類によって、わき芽を摘むか伸ばすのかです。例えばミニトマトは、わき芽をこまめに摘んで、本体を2m以上に成長させます。すると花芽の房が次から次に出てきます。30粒くらいの実をつける房もあります。1本の苗から二五〇粒以上の収穫ができました。

キュウリは逆に2m位に成長したら、

つべんの芽を摘むと途中からわき芽がいつばい出てきて花芽もついてこれも大収穫となりました。

トウモロコシは苗が生長する際にわき芽(わき芽ではなく実です)が次から次に出てきますが、こことく摘んでしまします。適当なところで上の方の一つを残し、その後わき芽は摘んで、栄養が一つに行くようにします。立派なトウモロコシが出来ました。摘んだわき芽(実です)は、ヤングコーンとして食べました。(安部 博史 記)



ちよっと勉強 わきめ

短歌

辻井豊子

【話し合い】「百の会」は、この度立ちあがった八十歳以上の女性の会。途中、或る人が「すいとん」を持って参上。戦時・戦後の食糧難の産物。だが、この「すいとん」はおいしかった。どうしよう かけがえのない彼が逝く鬼女は深夜に紫蘇ジュース炊く

【話し合い】 優しくった人を偲んで、鬼女の「私」は只々、紫蘇を炊くのだ、深夜まで。

糸柳 暁子

孫からの電話があり嬉しけり敬老の日の遅き夕ぐれ  
【話し合い】 孫も忙しいのだろう。「遅き」に意味が深い。

六十九年前の敗戦時、私は五歳でした。五歳という年齢のため、悲しいかな私の記憶の中に『戦争』という思いは、真つ暗なトンネルの中の生活ではありません。ですが、五歳で外地から引き揚げてきた時のことは、継続的ではなく、ポ



わたしと憲法

宮崎 トシ子

ツン、ポツンとですが思い出します。そして、引き揚げて来てからの生活が、さみしく、悲しい思い出だけは続いていました。

ウイメージを描きました。戦争のない社会が実現できるんだと思います。『永久にこれを放棄する』ということばに力強さを感じ、すぐくうれしい気持ちになったことを思い出します。

来年、戦後七十年を迎えるとき、私を含む国民一人ひとりが、平和を作るための働きをどのようにしたのか、問われてお思います。世界中、戦争のない、平和な世界が、一刻も早く実現出来る事を切に願っています。

月みても心楽しくならざりき庶民おきざり武器売る総理

【話し合い】 折角の名月なのに、なんたる総理。

俳句

三林 保子

文月の用件のみのメールかな

【話し合い】 挨拶も何もいらす、簡単。けど、肉筆の手紙も恋しい。「文月」の文もどこかへ飛んでった。

名月や気まぐれ雲にかくされし

【話し合い】 「気まぐれ雲」におかしみ。また現れるよ。名月さんを待とう。

そして、今でも、時々このイメージを思い浮かべることがあります。真つ暗な長いトンネルの中の生活はどれほどよくなってきたのか。ずーと先にあつた希望の光には、どれほど近づいてきているのか。実際、実現可能なのか。頭の中をいろいろと駆け巡ります。

川柳

アベミクス蟋蟀(こおろぎ)の声すぐ不況  
蝉(せみ)の声消費税捨ッ(シヤ)と鳴き続く

余志嘉壽

短歌

町角の溝の隙から蒲の穂が古代は水辺時の証人  
両側に彼岸花咲く道行けば浄土みたいと散歩の友が

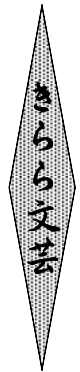
藤井美知子

俳句

暑くても虫の音色が秋を告げ  
稲刈りの音を響かすお盆かな  
早打ちの花火師閻を走りけり  
嫁漬けし秋の茄子(なすび)をほめにけり

梅田全美

東口正男



『きけ わだつみのこえ』  
(日本戦没学生の手記)を読む。



私の戦争体験記

羅津から撫順へ引揚げ

⑤

山門 リヨ子

『撫順』  
図們で恐ろしい体験をしたあとで敗戦と聞き、とにかくもうあのような恐ろしい思いから解放されたのだとホッとしました。

8月19日撫順に着きました。撫順は満鉄が経営する石炭の露天掘りで有名な炭鉱の街です。そこへ敗戦国民の日本人が避難民となって各地から流れ込みました。牡丹江、ハルピン、チャムス他北部のまちから また遅れて10月ころには満蒙開拓団の人々も。取りあえず収容所となったのは日

本人の学校、料亭、寺院など

でした。私の家族は大きな料亭に一先ず落ち着きました。そのとき出された砂糖湯は身中がとろけてしまいそうなほど美味しく思いました。しかしこの平和な気持ちも長くは

続きませんでした。限界まで来ていた疲れと飢えに体力はもう持ちこたえられなくなっていました。それに追い討ちをかけるように発疹チフスが流行り始めました。まず弱っていた小さな子供 高齢者そして大人の人も次から次へと襲われ亡くなっていきます。

「あの子の声が聞こえない」「隣で寝ていた人が今朝・・」

「あの人も」というように一日に何人もです。亡くなる人の多さに棺桶は間に合わなくなり、火葬場も処理能力を超えてしまいました。そのころになると撫順は零下20度位まで気温が下がるのは珍しいことではありません。亡くなった人は使われなくなった防空壕へ一時安置しました。といつてもどんどん重ねて置いています。一晩で冷凍人間になってしまいます。特に開拓団の方々は窓ガラスは壊れたまま

現在の夫さんとめぐり逢い、今から22、3年前に再婚され、若松に二人で暮らして見えます。夫さんは仕事の関係で10年ほど海外生活を経験されたせいか、今でも時々ふらっと出かけて1年の内3ヶ月くらいは外国暮らしだそうです。一緒に居られないんですかとお聞きしたら「べったりは厭でいつも別行動なの、お互いに好きなことをしています」

の学校で、暖房もなく夏服のまま、毛布もなく冷たい床で厳しい冬を越さねばならなかったのです。

日照時間が長くなり少しずつ暖かさが感じられるころのある日、荷車が何台かで冷凍人間になっていくのを見てきました。この様子も一生忘れることはできません。私の先輩(当時中学生)はその穴掘りをしたそうです。

満鉄社員は撫順の社員の社宅に一族一部屋で受け入れていただくことになり、料亭から出ました。また羅津鉄道局の社員は炭鉱当局の配慮で各部署に配属され、更に撫順

社員の方のお給料の30%を避難社員のために当ててくださったそうです。それでも生活は大変苦しく、私たち子供も炭鉱婦りの人たちにお餅やお饅頭を売ったりしました。

撫順に落ち着いて2ヶ月ほどもたったでしょうか。図們的爆撃のあと行方不明になっていた妹が見つかったのです。怪我もせず、病気にもならな

いで無事に。奇跡のように住んでいた方のお世話になっていました。自分の家族だけでも食べ物のないときに2ヶ月も他人の子供の世話ができるなんて本当に神様のような人たちだと父も母も感謝するばかりでした。この方たちのおかげでまた家族6人が揃いました。(次号へつづく)

お元気ですか

組合員訪問インタビュー 第110回

前田 和子さん



太平洋戦争が始まって間もない頃の昭和17年に鈴鹿市の箕田で生まれました。

22歳で四日市へ嫁ぎ男の子を授かりましたが、その子供を病気で亡くし失意のあまり、実家に戻られました。ご病気とはいえ18歳まで育て上げた最愛の一人息子に先立たれ、それなりのご苦労もありましたと推察しますが、そんな暗さは微塵も感じられません。

実家に戻り8年位経った頃、現在の夫さんとめぐり逢い、今から22、3年前に再婚され、若松に二人で暮らして見えます。夫さんは仕事の関係で10年ほど海外生活を経験されたせいか、今でも時々ふらっと出かけて1年の内3ヶ月くらいは外国暮らしだそうです。一緒に居られないんですかとお聞きしたら「べったりは厭でいつも別行動なの、お互いに好きなことをしています」

と笑って答えられました。ご夫婦の信頼関係の機微が垣間見えた瞬間でした。最後にご自分のPRをとお願ひしたら「いつも明るく前向き」と即座に返ってききました。そのひたむきさが日頃の活動に結びついているのだと思ひ感じし、逆にこちらが元気をもらって帰りました。

写真 勝谷 鐵幸  
文 中川 信子

差し入れ ありがとう

8月末から北海道で、アウトドア生活を楽しんでいる佐々木馨さんから、箱入りメイクイーンが10kg送られてきました。10月10日の健康フェスタのバイキングのご馳走として、この北海道の名産品を、楽しんで皆さんで戴きたいと思ひます。ありがとうございます。(勝谷 鐵幸 記)



支部日誌

- 8月29日(金)「きらら」編集・発行・連絡会
- 9月3日(水)第5回組織部会(9:30~白子コミセン) パソコン教室
- 5日(金)第5回執行委員会(13:30~ジエフリ) 音読の会
- 6日(土)「きらら」編集会議
- 10日(水)カラオケを楽しむ会
- 12日(金)女性部「百の会」(11:00~牧田コミセン)
- 12~13日(金~土)日本高齢者大会in富山
- 16日(火)「いきいきまつり」第1回事務局会議
- 17日(水)おいしい会「ハイシティセレンテ」 温泉の会 長野「ひまわり温泉」 パソコン教室・グランドゴルフ
- 18日(木)仲間づくり秋の特別月間推進会議
- 19日(金)正美さんのよみかき教室
- 20日(土)コミバスの会マックパ リュ-鈴鹿店アウト活動
- 21日(日)どんがめ 滋賀「霊仙山」
- 23日(火)かよちゃんの手芸教室 山歩会 南伊勢町「局ヶ頂」
- 26日(金)「きらら」編集・発行・連絡会
- 10月1日(水)第6回組織部会(9:30~白子コミセン) パソコン教室
- 2日(木)音読の会
- 3日(金)第6回執行委員会(13:30~ジエフリ)
- 4日(土)「きらら」編集会議
- 5日(日)鈴鹿社保協「学習会」
- 6日(月)安倍内閣暴走ストップ白子駅前行動
- 8日(水)カラオケを楽しむ会
- 10日(金)支部「健康フェスタ」
- 14日(火)三重県年金者一揆
- 15日(水)グランドゴルフ・パソコン教室
- 17日(金)卓球を楽しもう・山歩会「八鬼山越え」 正美さんのよみかき教室
- 23日(木)温泉の会 岐阜「喜多の湯」
- 24日(金)「きらら」編集・発行・連絡会
- 25日(土)おいしい会「港屋」
- 28日(火)かよちゃんの手芸教室
- 29日(水)映画の会「武士の一分」

わたしのレシピ (矢板橋 充子)

1. さんまごぼうの当座煮

**材料** (4人分) さんま3尾 ごぼう・2本 しょうが 1かけ A(水1と1/2 酒1/2カップ しょうゆ大さじ2 砂糖大さじ1 みりん大さじ2)

**作り方** ①さんまは頭と



わたを除いて水洗いし、3cm長さに切る。

②ごぼうは皮を軽くこそげ、めん イラスト 樋口 出 棒などで軽くたたいてから4cm長さに切り水洗いする。

③しょうがは薄切りにする。

④鍋にAを合わせて火にかけ②と③を入れてふたをし中火弱で7分煮る。

⑤④に①を加えてさらに10分程煮、器に盛る。

2. 糸寒天のごま酢あえ

**材料** 糸寒天 10g えのきたけ 1/4袋 みつ葉 1/3束 A(酢大さじ3 水大さじ2 砂糖大さじ2 塩小さじ1/3 しょうゆ小さじ1/3) 刻み白ごま大さじ2

**作り方** ①糸寒天は水に3分ほど浸してもどし食べやすく切る。

②えのきたけは根元を切って半分の長さに切り熱湯に通す。

③みつ葉は3cm長さに切る。

④Aを合わせ①~③とごまを加えてあえ器に盛る

催し物案内

- ① 安倍暴走ストップ白子駅前アクション 10月6日(月) 17時~18時 白子駅前周辺、リレートーク・署名・チラシ配り、パフオーマンスあり。お楽しみに。
- ② 鈴鹿社保協学習会 10月5日(日) 13時30分~ ジエフリ-すずか研修室A B 講演『これからの介護保険』 [45分] 講師 村瀬 博氏 (三重短期大学講師) 『鈴鹿市の社会保障』 [15分] 講師 藤井 新一氏 (民医連事務局次長)
- ③ 支部健康フェスタ 10月10日(金) 11時30分~ 15時30分 青少年スポーツセンター

サークル掲示板

サークル名	サークル連絡先	次回例会
パソコン教室	樋口 公允 (TEL 387-3541)	10月1・15日(水)13:00~白子コミセン
山歩会	前田 純 (TEL 374-4596)	10月17日(水)「八鬼山越え」
どんがめグループ	足立 房枝 (TEL 374-3174)	10月休み。
温泉めぐる会	辻井 良和 (TEL 386-0529)	10月23日(木)岐阜県「六条温泉喜多の湯」
グランドゴルフ	松田 二郎 (TEL 374-3134)	10月15日(水)9:00~フラワーパーク(雨天10月17日)
カラオケを楽しむ会	熊給 富子 (TEL 388-1380)	10月8日(第2水)11:00~16:00 ジェパ!カラオケ中央店 (会費 300円 お昼は各自で)
卓球を楽しもう	桑原 篤 (TEL 374-2894)	10月17日(金)13:30~白子コミセン2Fホール
<b>女性部サークル</b>		
おいしい会	本堂たき子 (TEL 387-4583)	10月25日(土)西条「港屋」11時30分現地集合
花をめぐる会	林 和代 (TEL 382-4003)	9月未定「コスモス」 10月未定「ダリア」
音読の会	太田 和美 (TEL 383-4545)	10月2日(木)9:30~ジェフリ-すずか
映画の会	辻井 豊子 (TEL 386-0529)	10月29日(月) 13時30分~映画「武士の一分」
かよちゃんの手芸教室	山中加代子 (TEL 383-4140)	10月28日(火)13時~16時 岡田集会所
正美さんのよみかき教室	中川 信子 (TEL 388-0427)	10月17日(金)13時30分~ジェフリ-すずか

「サークルへは乗る人も乗せる人も助け合いの心で気軽に乗り合わせて行きましょう。」